

若葉まつり開催

下市若葉作業所

第一回若葉まつりが十月四日、下市若葉作業所において開催されました。

この若葉まつりは、代表である阿知賀の大北義昭さんが昨年下市若葉作業所を設立され、この作業所を拠点に、障害を持った方だけでなく、高齢者も子どもも交流しながら、地域とふれあい、地域の一員として、共に生き、共にささえあう地域づくり、居場所づくりを目的に実施されたものです。



子どもたちもいっしょに、
たくさんおにぎりを作りました。

地域住民が 気軽に集える 場所に・・・

大北さんは、「阿知賀岡にある下市若葉作業所は開所して二年目になります。当初近隣の方には、テラスやサロンスペースもあるのですが、うそお気軽に立ち寄り下さいとお声をかけさせていただいていました。意外に周辺の方たちが作業

地域のお年寄りもおいしい
《茶がゆ》に大満足(〇)

所のことをご存知なかったこともあり、まずここを知っていただくためにも近隣の方たちとの交流を考えようと一言一こと、幅広い層の人たちが楽しみ集えるきっかけとなるよう、若葉まつりを企画いたしました。岡垣内をはじめ、たくさんの方に参加いただき、自治会、関係機関のご協力のおかげでにぎやかに楽しく交流することができました。」とお話され、作業所を憩いの



場として開放されたり、近所のお年寄りたちを温泉へ送迎されたりと住み慣れた地域で安心して楽しく暮らせるように、また生まれ育ったこの町が何とか元気になるようにというんな人たちとつながりを持ち、情報を得ながら、できることから実践されています。

子どもたちと一緒に作った栗や昆布の入ったおにぎり、大きな鍋で作った大和の茶がゆ、汗だくになってしてくださったバーベキュー、どれも本当においしく大好評でした。最後にビンゴゲームでお年寄りや子どもたちも大いに盛り上がりました。

若葉まつりをきっかけにこの若葉作業所が高齢や障害等の有無に関わらず、地域住民が気軽に集える場所になればと願います。



大ビンゴゲーム大会ではみんなで大いに盛り上がりました。(〇)

若葉まつり開催

下市若葉作業所

一月十一日、第二回若葉まつりが、下市若葉作業所で開催されました。
朝から地域の方々が準備に集まり、にぎやかな「若葉まつり」が始まりました。

第二回

若葉まつりを終えて・・・

第一回若葉まつりが皆様のご協力の下、大成功に終わることができ安心しておりました矢先、ご近所から「義昭ちゃん次はいつ」「本当に楽しかったよ」「次は僕らも応援するからね」等々声を寄せていただきました。

当初皆様は近所にできた「作業所」とは何する場所、目的は、そして大丈夫？きつと心配だったと思います。第一回目のまつりで四十七名の方に参加いただき、「安全な場所」とのご認識が、第二回の若葉まつりの七十二名参加という形で証明されたと思います。

前日雪模様そして寒い。当日晴天。朝九時より準備にかかりました。一番のお手伝いの参加は、なんと八十八歳の〇さん、九時三十分「遅くなりました。手伝います。」スタートは十二時。「そんなの関係ない」との勢いでお餅つきの「杵と臼」の洗い方を伝授いただきました。



お餅つきに子どもの列

た。次に民生委員の先生「晴れてよかったね。」と到着するやいなや喜びの第一声。

県社協、町社協、美吉野園、大淀養護学校、コスモス会。それぞれスタッフの到着。「あつたかくて今日はたくさんお越しいただくことができますね」全員我がこととして喜んで参加いただきました。

集合時間前に全員集合。十三時餅つきスタート。十四時「きつちゃん」たこ焼きスタート。ぜんざいも飛びようになくなりました。ラストはお決まりの「ビンゴゲーム」。

今回も本当に、ご近所の皆様とスタッフに感謝しております。そして、下市町阿知賀岡垣内は本当に元気です。そしてこのような地道な活動が今後とも出来るよう努力してまいります。

下市若葉作業所

代表 大北義昭



出来上がったお餅を美味しく頂きました。 お餅を丸める子どもたち



お気軽に

お立ち寄りください

下市若葉作業所は開所して二年目になります。普段は、障害者の方の作業所として地道な活動をしていきますが、高齢や障害の有無に関係なく地域住民が気軽に集える場所になればと願っています。

ぜひ「下市若葉作業所」にお立ち寄り下さい。

作業所スタッフ一同



ビンゴゲームで盛り上がりました。



「巻っちゃん」たこ焼き大好評